



2027 年度版 **デザインと創造の業界動向調査** 分野別レポート

投資

次に来る投資の波は能力の連携の確立

デザインと創造の業界の企業にとって、デジタル トランスフォーメーションに投資するかどうかは、もはや問題ではありません。今問われているのは、AI、データ、人材、プラットフォーム、新しいテクノロジーのすべてが同時に進化している中で、どう投資するかです。建物の設計、製品の製造、コンテンツの制作など、目的が何であっても、個別のテクノロジーに投資するだけでは、能力の連携（業務を改善するために、適切なテクノロジーと信頼できるデータ、高いスキルを持つ人材、ガバナンスを連携させること）に投資した場合よりも高い価値を引き出すことはできない、ということに多くの企業が気づき始めています。

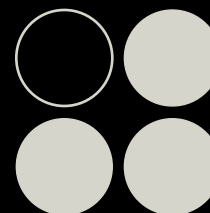
『2027 年度版デザインと創造の業界動向調査』には、このような投資の優先順位の変化が現れています。リーダーの 75% が今後 3 年間で AI への投資を増やすことを計画しており、AI は、デザインと創造の業界において最も多くの企業が優先的に投資する分野となっています。一方で、AI 目標の達成に近付いている、または達成したと回答した企業は 40% のみでした。このことから、多くの企業がまだ日常のワークフローへの AI の導入に取り組んでいる段階であることがわかります。

AI への投資は、実用的な用途へと向けられるようになっていきます。企業における AI の用途に

は、反復作業の自動化（39%）、予測分析の改善（36%）、デザイン インテリジェンスとコンセプト生成の支援（34%）、連携と知識の共有の促進（32%）があります。これらの調査結果を総合すると、企業は個別のユース ケースに限定して投資するのではなく、全社に AI を展開するために必要な能力に投資していることがわかります。

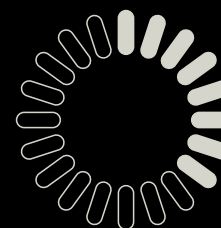
能力の連携とは

能力の連携とは、テクノロジー、信頼できるデータ、高いスキルを持つ人材、ガバナンス、統合ワークフローを組み合わせることで、投資が独立的に機能するのではなく、相乗効果を生むようにすることを言います。



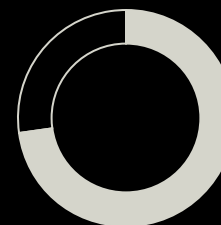
75%

が、今後 3 年間で AI への投資を増やすことを計画



40%

が、AI 目標の達成に近付いている、あるいは達成したと回答



73%

が、AI によって業界が発展すると考えている



デザインと創造の業界の各企業が優先的に投資する分野は共通するが投資戦略は異なっている

デザインと創造の業界では、将来に向けた投資の対象は、企業間で概ね一致しています。AI やデータ管理からサステナビリティ、新製品、プラットフォームテクノロジーまで、テクノロジーはあらゆる主要分野における重要な投資先です。大きく異なるのは、企業がこのような能力を整備する方法です。

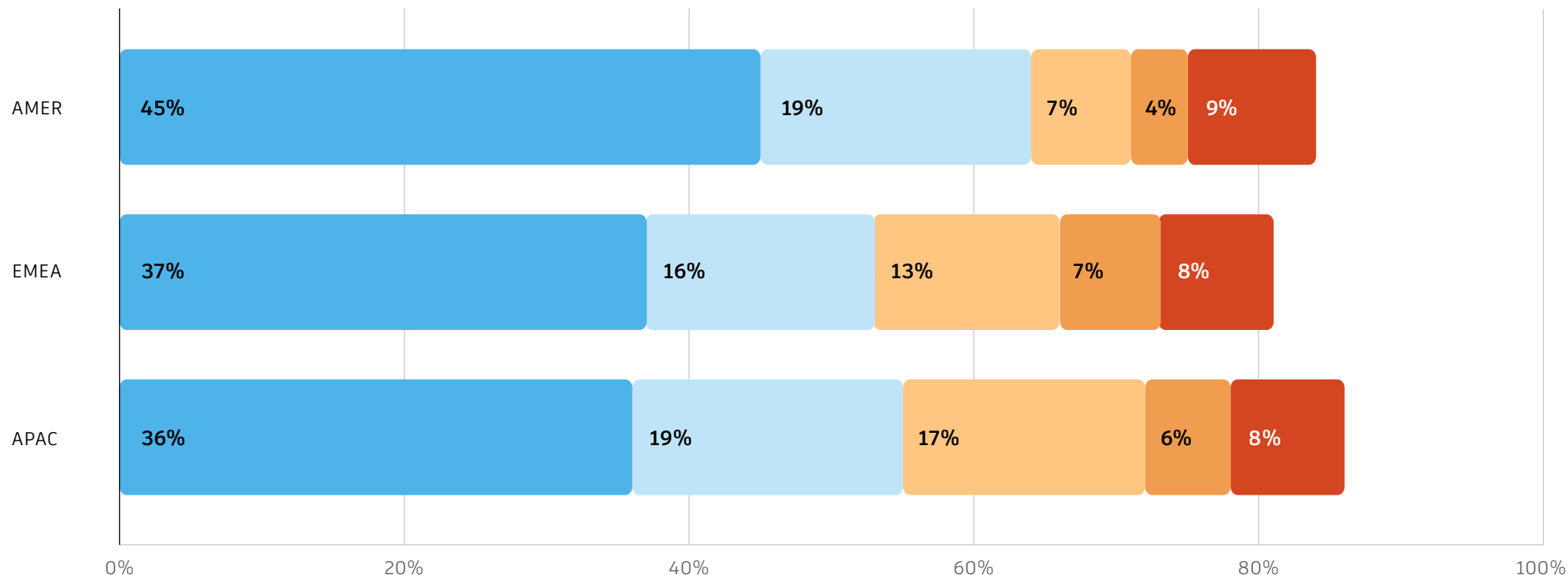
地域ごとの戦略を見ると、企業が能力を整備する方法には明らかな違いがあることがわかります。南北アメリカ (AMER) の企業は、テクノロジーへの投資に最も積極的で、45% がテクノロジーへの直接的な投資を主な

投資アプローチとして挙げています。ヨーロッパ、中東、アフリカ (EMEA) とアジア太平洋地域 (APAC) の企業でもテクノロジーは主要な投資先となっていますが、研究開発については、AMER ではわずか 7% であるのに対し、EMEA では 13%、APAC では 17% と、より高い割合を占めています。つまり、AMER ではテクノロジーへの直接的な投資が重視され、EMEA と APAC ではテクノロジーと研究開発の両方に幅広く投資するというように、企業は異なる投資モデルを通じて同様の目標を達成しようとしています。

投資アプローチは地域によって異なる

AMER はテクノロジーに優先的に投資し、EMEA と APAC は研究開発により重点を置いて投資

● テクノロジーへの投資 ● 従業員のスキルアップ ● 研究開発への投資 ● 社内人員の拡大 ● 新規ベンダーへの投資



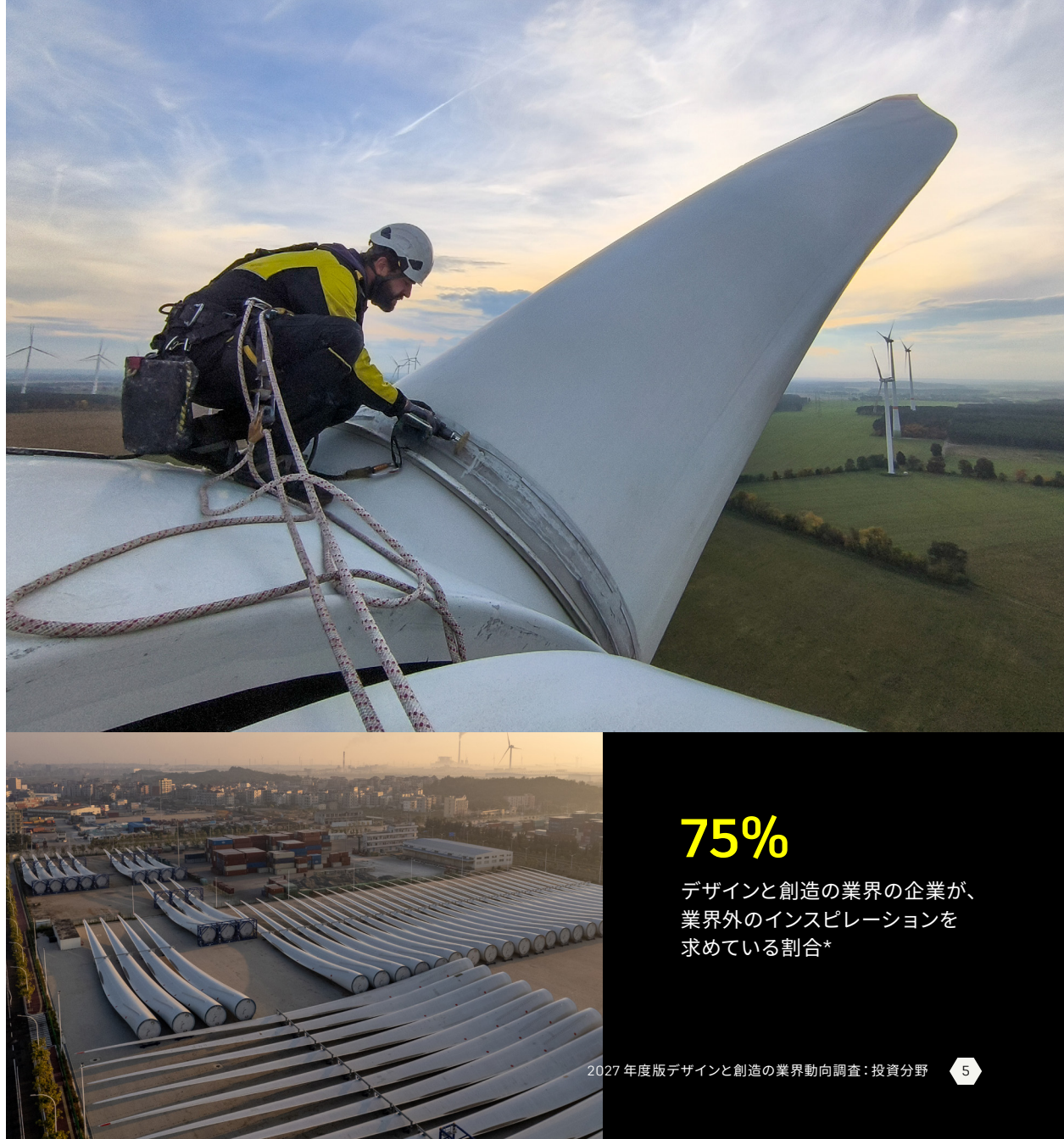
アンケートの質問: 投資を増やす分野として、[データ管理および分析 / 新製品またはサービスの開発 / 環境のサステナビリティ / 人工知能 / プラットフォームと API] を挙げられました。貴社がこの分野に投資する方法として最も重要なものを選択してください。単一回答、数字は回答者の割合。一部示されていない選択肢があります。

将来の投資において テクノロジーが共通の基盤に

いずれのビジネス能力を強化する場合も、投資の優先順位は驚くほど変わりません。テクノロジーは、あらゆる主要な投資分野で優先度の高い投資先であり、従業員のスキルアップと研究開発がその後に続きます。多くの企業は、これらの投資先を競合する選択肢ではなく、テクノロジー、人材、イノベーションのすべてを強化する総合的な投資ポートフォリオとして位置付けていると考えられます（6 ページの図を参照）。

国別に見ると、異なる状況が明らかになります。世界中の企業が AI への投資を増やしているものの、収益に占めるテクノロジー投資の割合は市場によって大きく異なります。この違いは、投資の集中度には、テクノロジーの戦略的重要性に関する意見の相違よりも、各地域の経済状況やビジネスの優先事項が大きく反映されていることを示唆しています（7 ページの図を参照）。

*出典：オートデスク『2026 年度版 AI 動向』調査



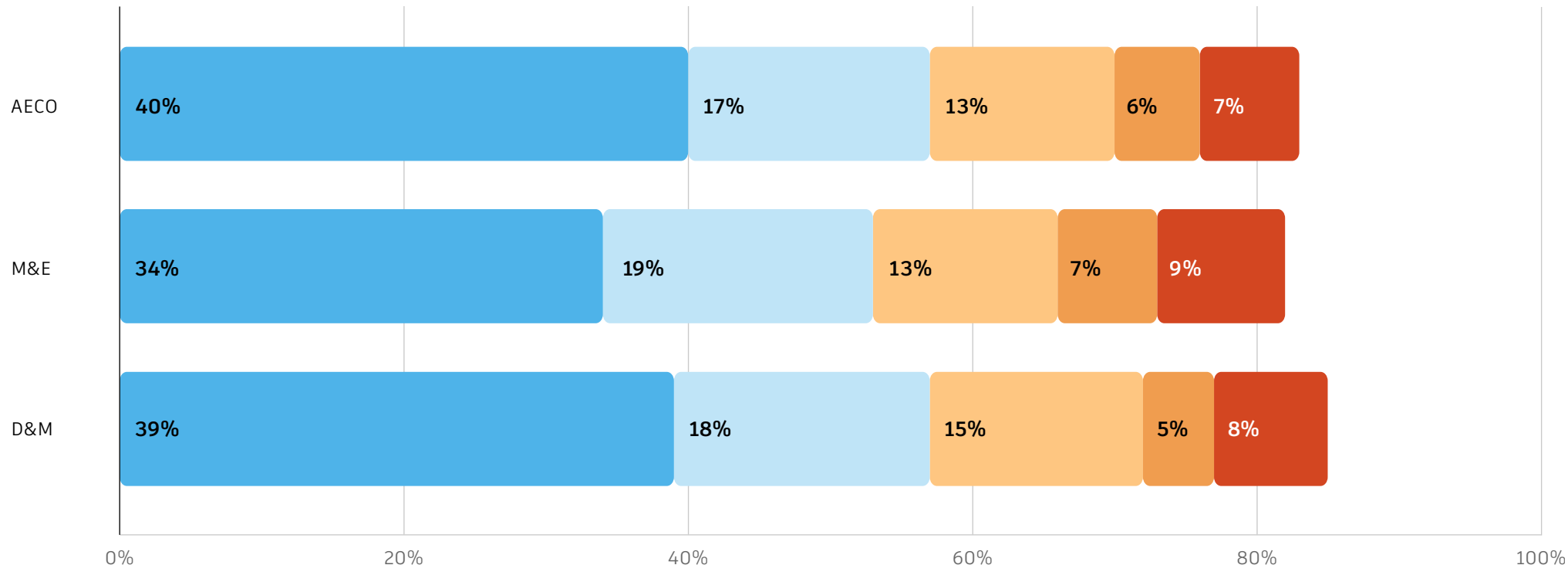
75%

デザインと創造の業界の企業が、
業界外のインスピレーションを
求めている割合*

投資戦略はテクノロジー、スキル、イノベーションに収束

デザインと創造の業界においてテクノロジーが圧倒的に大きな投資分野

● テクノロジーへの投資 ● 従業員のスキルアップ ● 研究開発への投資 ● 社内人員の拡大 ● 新規ベンダーへの投資

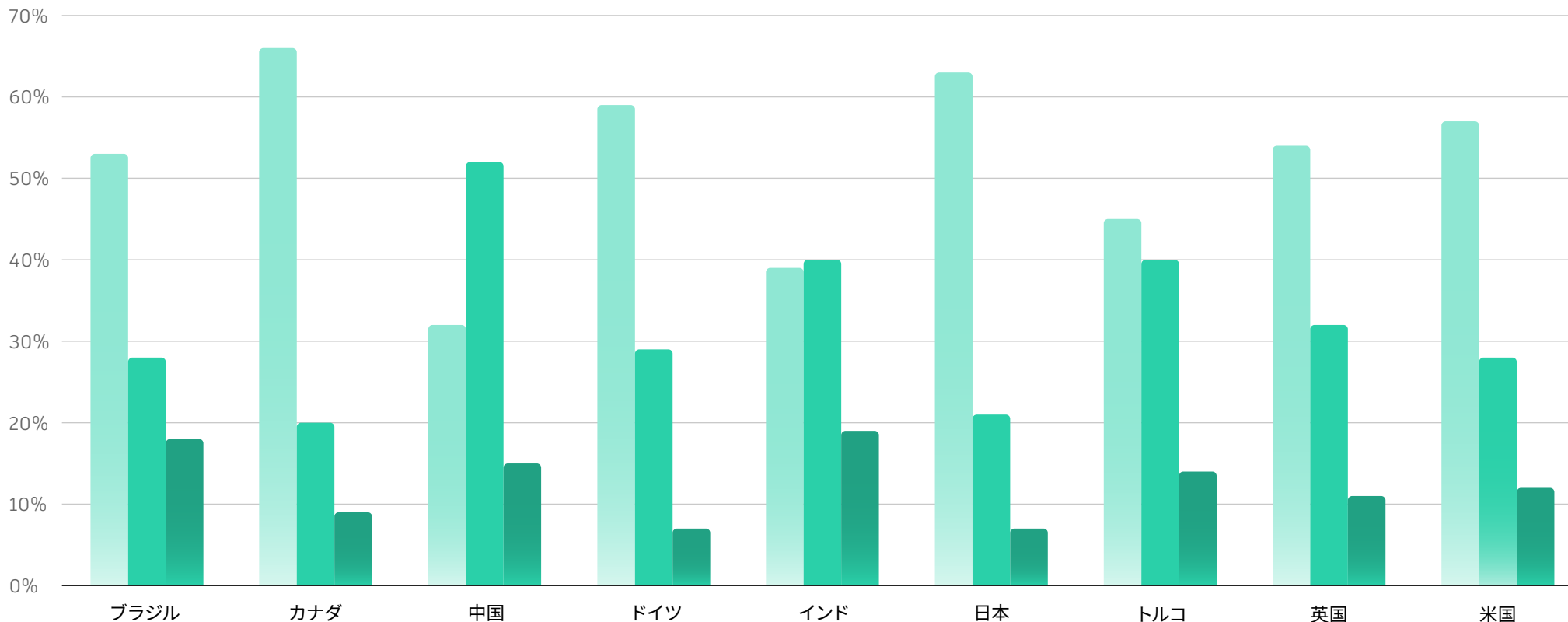


アンケートの質問: 投資を増やす分野として、[データ管理および分析 / 新製品またはサービスの開発 / 環境のサステナビリティ / 人工知能 / プラットフォームと API] を挙げられました。貴社がこの分野に投資する方法として最も重要なものを選択してください。単一回答、数字は回答者の割合。一部示されていない選択肢があります。

テクノロジーへの投資の集中度は国によって大きく異なる

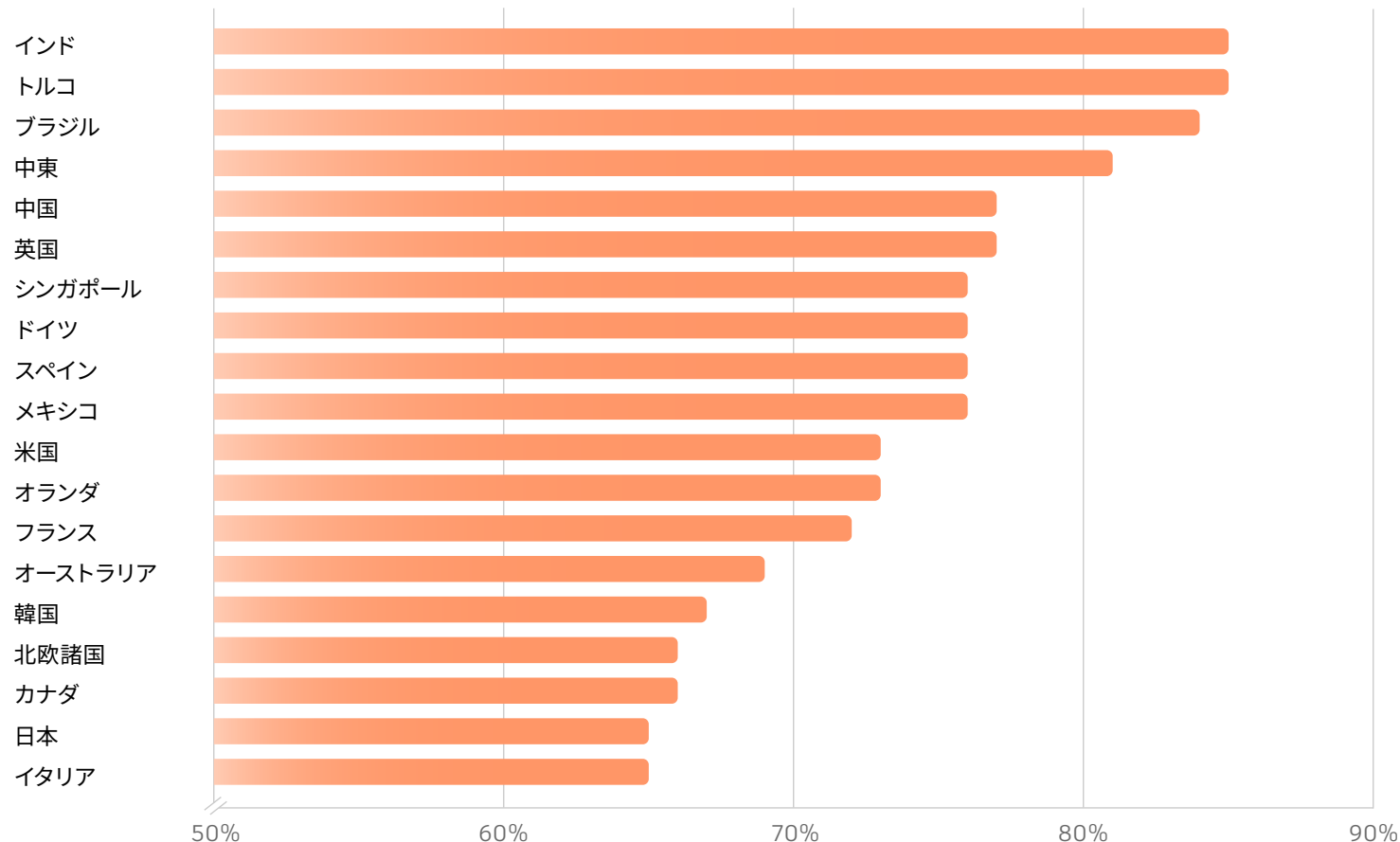
世界中の企業が、収益の多くをテクノロジーの進歩に投資

0% ~ 30% 31% ~ 60% 61% ~ 100%



アンケートの質問：現在、収益の何パーセントをテクノロジーに投資していますか。5段階評価。一部の調査対象国は示されていません。

人工知能への投資は全世界で大幅に増加



アンケートの質問: 貴社の投資額は、今後3年間でどのように変化するとお考えですか。5段階評価。上位2項目 - "増加する" と "大幅に増加する"。数字は各項目を選択した回答者の割合です。

主要市場の企業は軒並み、AIへの投資は今後も増えていくと予想していますが、増加のペースは国によって異なります。インド、トルコ、ブラジルでは、投資の増加幅が最も大きいと予想される一方、米国、ドイツ、英国、中国でも継続的な投資に対する強い意欲が示されています。これらの調査結果からは、テクノロジー全般への投資方針は市場によって異なるものの、AIが世界共通の戦略的優先事項になっていることが示唆されます。

ペースセッターは投資を能力に変える

最大のビジネス価値を創出できる企業は、ただ投資を増やしているだけではありません。投資から価値を引き出すために必要な組織の能力を構築しています。**ペースセッター**は、AI (91%)、人材の獲得・育成・定着 (85%)、データ管理と分析 (85%) など、ほぼすべての主要な能力に対する投資を拡大する予定です。ペースセッターは、個々の優先事項に取り組むのではなく、相乗効果を生む能力の連携のポートフォリオ全体に投資します。

このような投資は、強固な組織基盤によって支えられています。メインストリームの企業グルー

プと比べ、ペースセッターは AI 専門チームの設置率 (94% 対 61%)、専任のデータ責任者の設置率 (93% 対 66%)、信頼できるデジタル トランスフォーメーション パートナーを有する割合 (92% 対 65%)、API によりコネクテッド システムを実現している割合 (91% 対 60%) が大幅に高くなっています。これらの調査結果を総合すると、投資と併せて、新しい能力を実際に活用するために必要なガバナンス、人材、デジタル インフラストラクチャーを用意している企業では、より大きな価値を創出できることがわかります。

94%

ペースセッターの
AI 専門チームの
設置率

対 61%

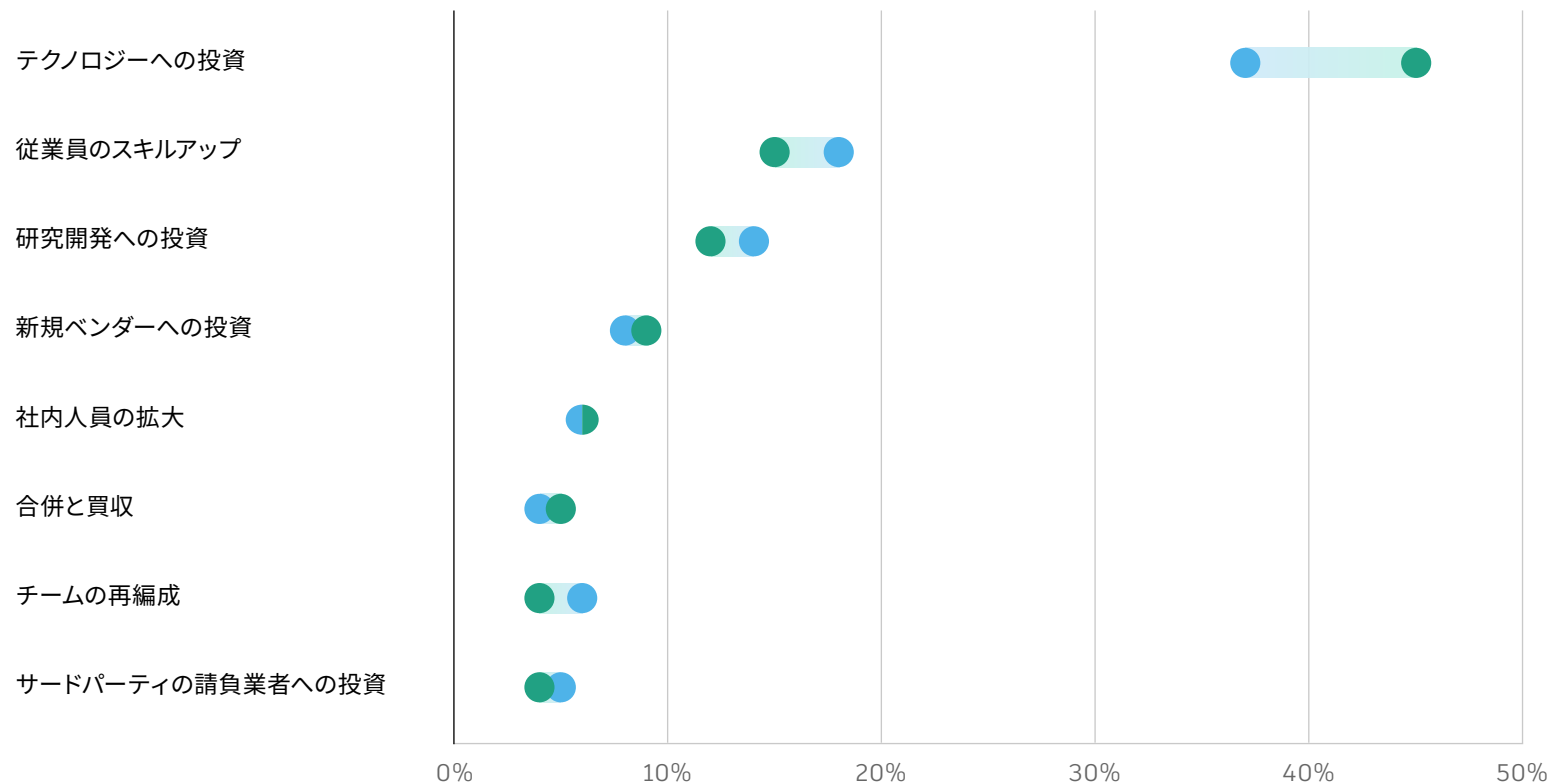
メインストリームの
企業グループの場合

ペースセッターとは

本調査の対象企業のうち 11% がペースセッターです。これは、デジタル成熟度、AI の導入、サステナビリティのすべてにおいて先行している企業です。ペースセッターは、業績と将来の課題への準備度の両方で、同業他社を上回ります。調査方法の詳細については、『2027 年度版デザインと創造の業界動向調査』レポートをご覧ください。

ペースセッターはテクノロジーに重点的に投資する一方、メインストリームの企業はスキルアップと研究開発により多く投資

● ペースセッター ● メインストリーム



アンケートの質問: 投資を増やす分野として、「データ管理および分析 / 新製品またはサービスの開発 / 環境のサステナビリティ / 人工知能 / プラットフォームと API」を挙げられました。貴社がこの分野に投資する方法として重要なものを選択してください。単一回答、数字は回答者の割合。「ペースセッター」の定義は9ページにあります。



まとめ

デザインと創造の業界の企業は、新たな投資の時代に入っています。単にどこに投資するかは、もはや問題ではありません。今問われているのは、長期的に高い価値を生み出す投資戦略をどのように策定するかです。AI、データ、人材、新規テクノロジーなど、何に投資するにしても、個別の投資の効果は、これらの投資が相乗効果を生むことで最大

化することを多くの企業が認識し始めています。

ペースセッターの投資アプローチは異なります。リソースを1つの分野に集中させるのではなく、テクノロジー、人材、データ、ガバナンス、デジタル インフラストラクチャーに、各投資が相互に効果を高め合うよう、幅広く投資します。このような投資方法のメ

リットは、特定の分野への投資を増やすことなく、テクノロジー、人材、プロセスが共に進化する運用モデルを構築することによって得られます。

デザインと創造の業界全体で、リーダーにとって重要な点は明確です。最も効果的な投資戦略とは、単に新しい能力に投資するのではなく、将来の投資がさらに

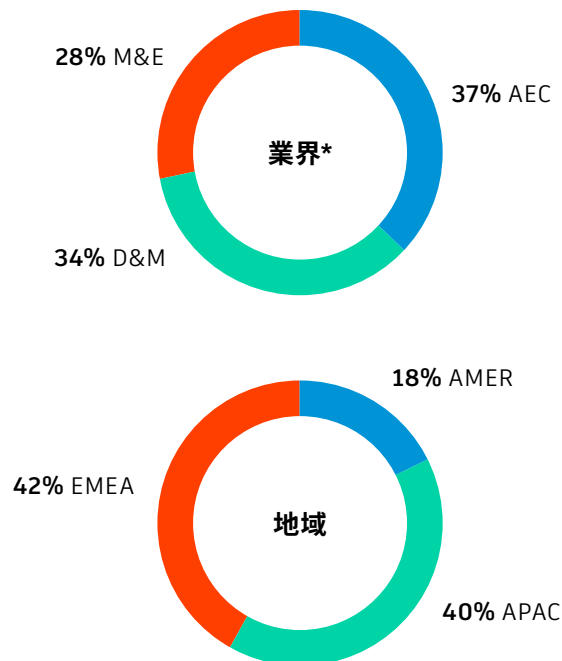
大きな価値を生み出すための条件を整えるものであるということです。時間の経過に伴い、このような投資の相乗効果は、企業がイノベーションを加速させ、より確実に変化へ適応し、長期的な競争上の優位性を確立する助けとなります。

この分析について

この投資に関するブリーフィングは、主にオートデスクの『2027年度版デザインと創造の業界動向調査』を基に作成されました。この調査は、全世界のデザインと創造の業界の5,500人のリーダーおよび専門家を対象としたものです。その他の動向の比較においては、オートデスクの2025年度版および2026年度版『Design & Make Pulse (デザインと創造の動向)』からの調査結果を使用して、優先投資分野とテクノロジーの導入が前年に比べてどう変化したかを紹介しています。ペースセッターは2027年度の全世界の回答者の11% (n=589) を占め、残りの89%はメインストリームの企業と分類されます。

"ペースセッター"、"デジタル成熟度"、"AIリーダー"、"サステナビリティリーダー"の定義は、『2027年度版デザインと創造の業界動向調査』レポートで使用されている定義と同じです。このブリーフィングの動向データの参照箇所では、『2026年度版AI動向』の比較結果を引用しています。

投資の回答者



*四捨五入のため、数値の合計が100%にならない場合があります。

オートデスクについて

オートデスクは、デザインと創造の手法に変革をもたらしています。そのテクノロジーは、建築、エンジニアリング、建設、運用、製品設計、製造、メディア & エンターテインメントの各分野にわたり、大小を問わずさまざまな課題の解決に取り組む世界中のイノベーターを支援しています。環境に配慮した建物から、よりスマートな製品、さらに人々を魅了する大ヒット作まで、オートデスクのソフトウェアは、お客様がすべての人にとってより良い世界をデザインし、創造できるよう支援しています。詳細については、<https://www.autodesk.com/jp> をご覧になるか、オートデスクのソーシャルメディアをフォローしてください。

オートデスクへのお問い合わせ: 本調査レポートに関するご質問や、今後の調査プログラムに参加するための登録方法については、state.of.design.and.make@autodesk.com にお問い合わせください。

このレポートに記載されている情報は、お客様の便宜を図るために、一般的な情報を提供することのみを目的としています。オートデスクは、このレポートに記載されている情報、テキスト、グラフィック、リンクなどについて、正確性と完全性を表明することも保証することはありません。

また、このレポートに示されるいかなる意見についても、それに従った場合に特定の成果または結果を達成できることを保証するものではありません。

© 2026 Autodesk, Inc. All rights reserved.